

適応機種

洗面化粧台

BTS、BGA

この説明書は、商品を正しく取付・設置していただくための手順や方法・注意事項について記載したものです。内容を確認しながら、確実に安全な取付・設置をお願いします。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取付・設置してください。
- 表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



この図記号は、商品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



この図記号は、商品の取り扱いにおいて、注意を喚起するための図記号です。



この図記号は、商品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

- 取付・設置完了後は、各部の点検や試運転を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本体に同梱されている取扱説明書などは、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付・設置完了後、お客様にお渡しください。



※左のコードは、下記の番号を意味しています。
商品に関する情報にはアクセスできません。

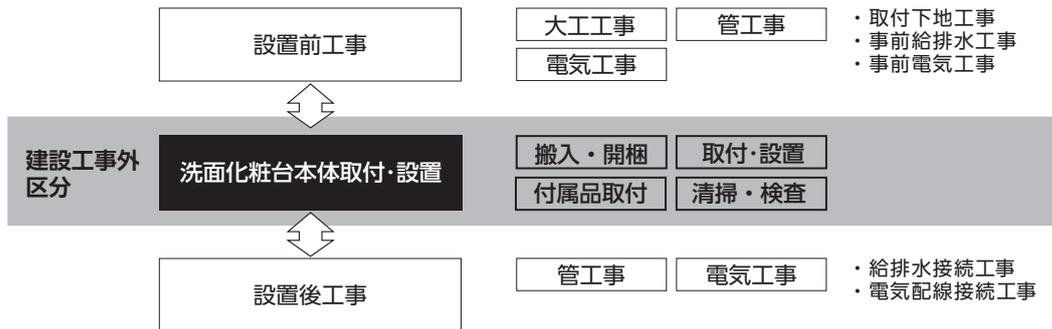
W103095000

安全上のご注意（必ずお守りください）



! 本説明書は、洗面化粧台本体の取付・設置と関連工事(建設工事)である大工工事、管工事（給排水）、電気工事などと区別して説明しています。建設工事は関連する法令・規定に従って、法的有資格者による工事が必要になります。流通業者様（販売店様など）からの発注で本体の「取付・設置」を行う場合は、設工事部分と「洗面化粧台本体取付・設置」を区別して行ってください。設置前工事、設置後工事の一部でも含む場合は、建設工事になります。

■洗面化粧台の「取付・設置」工事区分



※本説明書では、上記した工事に関する説明部分に **大工工事** **電気工事** などの工事区分を表記しています。

■洗面化粧台の工事区分

の箇所が本説明書で主に説明する取付・設置作業です。

※作業名称や作業内容は一例です。実際の工事工程表を確認してください。

	作業名称(区分)	建設業区分			建設業外	作業内容
		大工 工事業	管 工事業	電気 工事業	洗面化粧台 取付・設置	
設置前工事	建築壁の下地工事	○				建築壁へのキャビネット取り付けのための下地工事
	電気配線工事			○		屋内配線と配線器具（コンセント）工事
	排水配管立ち上げ工事		○			所定位置への排水管の立ち上げ工事
	給水・給湯配管立ち上げ工事		○			所定位置への配管の立ち上げ工事
洗面化粧台 本体取付・設置	キャビネット・カウンターなどの取り付け				○	キャビネット・カウンターの組み立てと設置作業
	排水部品の取り付け				○	排水部品の組み立てと所定位置への取付作業
	水栓の取り付け				○	水栓の組み立てと所定位置への取付作業
	商品間のシリコン充てん				○	商品間のすき間を仕上げる処理作業
	完成検査				○	洗面化粧台本体取付・設置後の設置状況確認検査
設置後 工事	ミラーキャビネットおよびオプション機器の電気工事			○		ミラーキャビネット・オプション機器への電源ケーブル・アース線接続工事と検査
	給水・給湯配管と水栓およびオプション機器の接続工事		○			水栓・オプション機器への給水・給湯一次側接続工事と検査
	建築側排水管への接続工事		○			洗面化粧台排水管への建築排水管接続工事と検査

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 警告

- ◎ウォールキャビネットなどの商品の取付・設置は、建築壁の構造を確かめて、この説明書のとおり正しく行ってください。取付・設置を誤ると、使用中に取付ねじがゆるみ、ウォールキャビネットが落下し、ケガをする恐れがあります。
- ◎電気工事、ガス給湯工事、給排水工事は、法的資格を有する者が行う工事範囲です。法令・規定に従って、「法的有資格者」が行ってください。
欠陥があると漏電やガス漏れ、水漏れ、火災の恐れがあります。 **電気工事** **管工事**
- ◎給湯側の接続部には、元止め式のガス瞬間湯沸器を接続しないでください。器具が正常に作動せず、危険な状態になります。 **管工事**

⚠ 注意

- ◎当社商品に使用する材料や接着剤などは、JIS、JASまたは国土交通大臣の認定を受けたF☆☆☆☆の材料を使用しています。下地材、接着剤、塗料などについても、F☆☆☆☆レベルのものをお選びください。ホルムアルデヒド発散量の多い下地材、接着剤、塗料などを使用すると、室内のホルムアルデヒド濃度を高めることとなります。 **大工工事**
- ◎取付・設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、^{ちょうぼん}丁番のゆるみがないか、必ず確認してください。扉の取り付けに異常があると、使用中に扉が落下し、ケガをする恐れがあります。
- ◎給排水管の接続は、必ずシールをしてください。水漏れにより、家財を汚したり、腐らせる恐れがあります。 **管工事**
- ◎キャビネットどうしの連結や建築壁への固定などの際は、固定ねじや工具で配線や配管を傷つけないように、十分に気をつけてください。

組込機器類

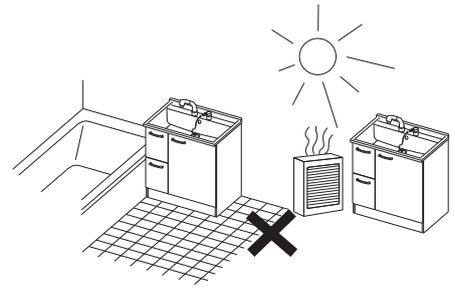
- ◎洗面化粧台に取付・設置する電気温水器やその他の電気機器・水栓などについては、それぞれの商品の説明書や商品本体の注意表示を確認して工事を行ってください。
工事を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になる恐れがあります。 **電気工事** **管工事**

洗剤類

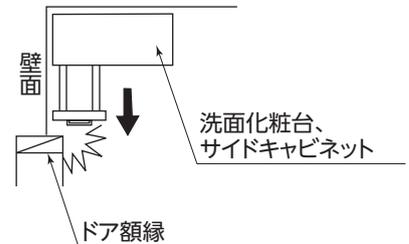
- ◎取付・設置や仕上げ工事に使用する溶剤・接着剤・洗剤・その他の薬品類は、容器に記載の注意表示に従って、正しくご使用ください。
誤った使い方をすると、人体に悪影響を及ぼしたり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。 **大工工事**

その他取付・設置上のお願いについて

- 洗面化粧台を浴室内へ設置しないでください。直射日光のあたる場所や、火気の近くに設置しないでください。色あせたりキャビネットが傷んだり、商品の寿命を縮める原因になります。



- 壁面のすぐ横に引出し付の洗面化粧台、サイドキャビネットを設置する場合は、ドアの額縁に引出し扉が当たらないことを確認してください。引出しが開かなくなります。もし、当たる場合は、設置位置を変更してください。



- 排水器具は、Sトラップに組んで出荷していますが、再度各部のジョイント部を締め直してください。輸送中のショックなどでゆるんでいると、水漏れの原因になります。

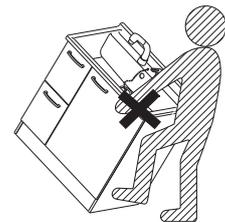


- 水などで扉がぬれたら、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。ぬれたまま放置しますと、扉のふくれ、はがれの原因になります。

- 洗面ボールやカウンターの掃除に、クレンザーやタワシを使わないでください。表面に傷がつき、光沢が失われる原因になります。酸性、アルカリ性、塩素系の洗剤、シンナー、ベンゼンは使用しないでください。扉やキャビネット、洗面ボールの変色・変質の恐れがあります。



- キャビネットを移動するときは、商品に無理な力がかからないように気をつけてください。変形や破損の原因になります。



- キャビネットを移動するときは、引出しを引き出して持ち手にしないでください。レールが変形し、商品の破損をまねく恐れがあります。



傷防止のお願い

- ダンボールや厚手の毛布で洗面化粧台やカウンターの上を十分に保護してから作業を開始してください。
- ダンボールを開いたり動かしたりするときは、床や商品に傷をつけないように養生^{ようじょう}してください。
- 配管接続口は、取付・設置中に傷をつけないように、適切な養生をしてください。
- 取付・設置後の汚れ落とし、お手入れは、スポンジか柔らかい布を使用してください。
タワシや固めの布を使用した場合、すり傷、ひっかき傷がつく恐れがあります。

付属部品表

- 開梱後、下表の付属品が揃っていることをご確認ください。

部品		水栓 ※1	壁固定 ねじ (5×55)	ジョイント キャップ (φ16.5)	水受け トレイ ※2	可動 排水フタ	給水・ 給湯 キャップ	点検口 フタ	パッキン	点検口フタ 固定用ねじ (3.1×13)	排水口 プレート	排水栓 チェーン付	取扱 説明書 取付・設置 説明書 保証書	
		機種												
洗面化粧台	BTS	(洗髪タイプ)	1	2	2	1	1	2	-	-	-	-	1	各1
		(洗面タイプ)	1	2	2	-	1	2	-	-	-	-	1	各1
	BGA	(洗髪タイプ)	1	2	-	1	-	2	1	1	6	1	1	各1
		(洗面タイプ)	1	2	-	-	-	2	1	1	6	1	1	各1

※1：水栓は洗面化粧台に同梱されていますので開梱の際、紛失しないように気をつけてください。

※2：水受けトレイは、洗面化粧台の本体内部に同梱されています。

水受けトレイは、洗面化粧台により取付方法が異なります。(P.12)

〈ウォールキャビネット、サイド用ウォールキャビネット〉

部品	壁固定ねじ (5×55)	ジョイントねじ (4×28)	ジョイントキャップ (φ16.5)
間口			
150	2	4	6
250/300/450	3	4	7
500/600/650/750	4	-	4

付属部品表

〈サイドキャビネット（上台）、サイドキャビネット（下台）〉

間口		部品	壁固定ねじ (5 × 55)	ジョイントねじ (4 × 28)	ジョイントキャップ (φ 16.5)	パッキン (L=800)	フィラー (75×700)
							
上台	150/250		4	—	4	—	—
	300/450		3	—	3	—	—
下台	150	BTS	—	3	3	—	—
	250	BTS	2	—	2	—	—
	150	BGA	1	2	3	1	2
	250/300/450	BGA	2	2	4	1	2

〈洗濯機用ミドルキャビネット〉

間口		部品	壁固定ねじ (5 × 55)	ジョイントねじ (4 × 28)	ジョイントキャップ (φ 16.5)
					
650			4	2	6

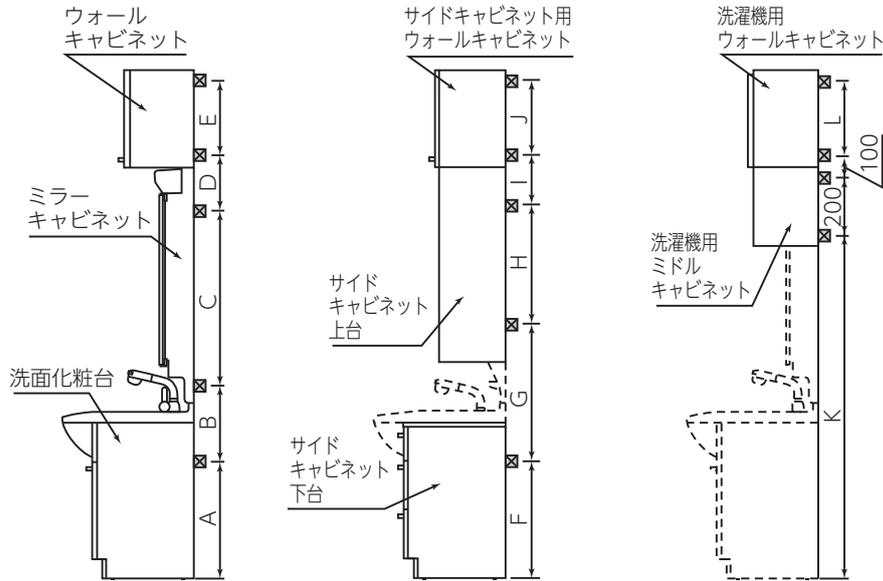
建築壁の確認

- 下図を参照し、建築壁に強固な下地棧が設けられているか、確認してください。

下地棧は、マツ・ヒノキなどの強度のある材で、虫食い・腐れ・抜け節のないものを使用してください。厚さ 30 mm以上、幅 90 mm以上が必要です（合板を下地とする場合は 12 mm以上の合板を使用してください）。※図は、洗面化粧台、ミラーキャビネット、ツールキャビネットなどを組み合わせたときの下地棧の位置を示しています。

大工工事

〈下地棧取り付け参考位置〉



■洗面化粧台・ミラーキャビネット・ウォールキャビネット

機種		測定位置	A	B	C	D	E
BTS	750	1面鏡	490	340	835	190	350
		3面鏡	490	340	810	215	350
	600	1面鏡	490	340	850	175	350
		2面鏡	490	340	810	215	350
	500	1面鏡	490	330	845	190	350
BGA	750	1面鏡/3面鏡	590	270	695 [745]	300	300
	600						

※[]寸法は、キャビネット高さ1025mmの場合

■サイドキャビネット（下台・上台・サイドキャビネット用ウォールキャビネット）

機種		測定位置	F	G	H	I	J
BTS	150/250		490	760	375	230	350
BGA	150/250		590	660 [710]	375	230	300
	300/450		590	540 [590]	625	300	300

■洗濯機用キャビネット

	K	L
BTS	1555	350
BGA	1555 [1605]	300

建築壁への取り付け方法

- キャビネットの背板内側に複数の下穴が開いています。
この下穴から、壁固定ねじ（5 × 55）で建築壁の下地材に固定します。

- ◎複数の下穴を全てねじで埋めるよう、ねじを残らず使用してください。
ねじの使用数が少ないと、長期の間にはキャビネットの落下をまねく恐れがあります。

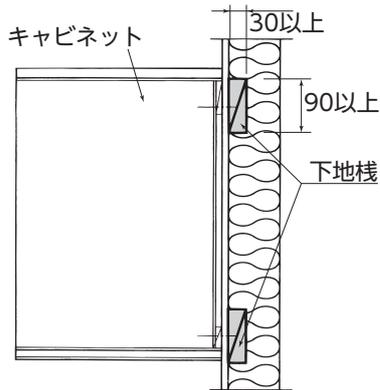


- ◎下図は、建築壁の種類による標準的な固定方法の例を示しています。
種類に応じ、十分な強度を保つよう取付・設置してください。



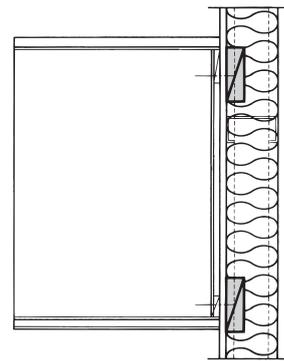
木質壁

下地材 90 × 30 以上



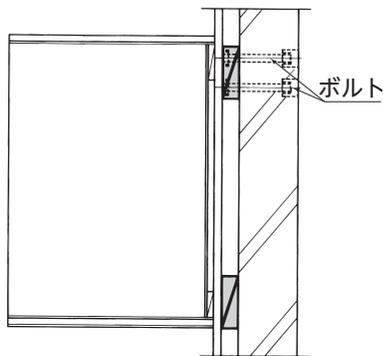
軽量鉄骨壁

下地材 90 × 30 以上



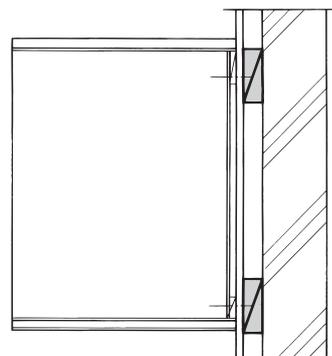
ALC 壁

下地材 90 × 30 以上
ボルト φ 9 @ 600 乱取り付け



RC 壁

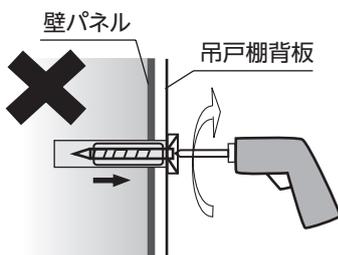
下地材 90 × 30 以上



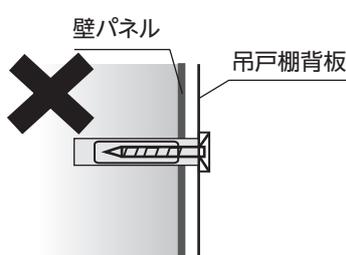
- ◎吊戸棚は下地材への取付を前提としており、上図以外の方法による場合、強度不足、取り付け不良による落下が懸念されます。特に、コンクリート壁にプラグを使って直接固定する場合、プラグの引き込み/不適切なねじの選定/プラグの破損には十分に注意してください。



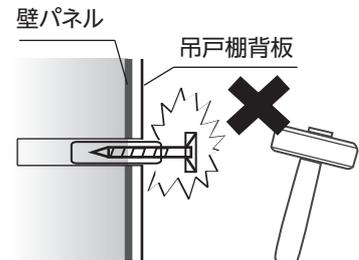
- トルクをかけ過ぎ、プラグを引き込んでしまう。



- ねじが細く長さも貫通してないためプラグが広がっていない。



- プラグの現物合わせで打ち込む際、プラグを割ってしまう。



壁固定ねじについて

- 同梱の壁固定ねじ（5 × 55）は、木質壁に使用するものです。
- 建築壁の構造によっては、同梱のねじが使用できません。
その場合は、十分な強度を保てるようにねじを選んで取付・設置してください。

取付・設置と工事のながれ

	ながれ	ページ	関連工事の有無
1	下準備と確認	10	大工工事・電気工事・管工事あり
2	扉・棚板などの取り外し	10	
3	水栓の取り付け	10	
4	排水栓の取り付け	10	
5	洗面化粧台の設置	11	
6	水栓の接続・配管	12	管工事あり
7	水受けトレーの取り付け	12	
8	排水器具の接続	13	管工事あり
9	ミラーキャビネットの設置	13	
10	ウォールキャビネットの設置	14	
11	サイドキャビネット(下台/上台/ウォール)の設置	14	
12	扉の調整のしかた	16	
13	引出しの脱着・引出し前板の調整のしかた	16	
14	棚板の取り外しと取り付けのしかた	17	
15	取付・設置後の確認・点検	18	大工工事・電気工事・管工事あり

- ③⑥の水栓については、水栓に付属の専用の説明書を参照してください。
- ⑨のミラーキャビネットについては、ミラーキャビネットに付属の専用の取付・設置説明書を参照してください。
- ⑪「サイドキャビネット(下台/上台/ウォール)の設置」について
※洗面化粧台と壁の間にキャビネットを設置する場合は、洗面化粧台より先に設置してください。洗面化粧台を先に設置すると間口に余裕がなくなり、キャビネットが取り付けられなくなる恐れがあります。

取付・設置

① 下準備と確認

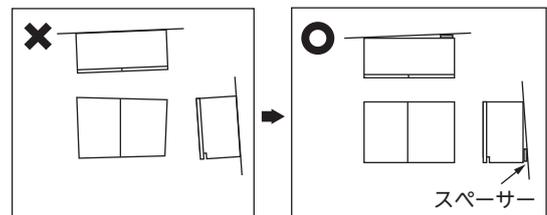
- (1) 下地棧が「建築壁の確認」「建築壁への取り付け方法」(P.7～8 参照) の示す位置に設けられているか、確認してください。 **大工工事**
- (2) ミラーキャビネット用コンセントは、ミラーキャビネットの右または左横付近くに設置してください。サイドキャビネットを取り付ける場合は、コンセントがサイドキャビネットなどに重ならないように気をつけてください。
- (3) 取付・設置に入る前に商品名・種類・色・数・寸法など、間違いがないか、確認してください。
- (4) 給水・給湯および排水管は、P.19 の図に示す位置に配管してください。 **管工事**

◎電気工事、ガス給湯工事、給排水工事は、法的資格を有する者が行う工事範囲です。法令・規定に従って「法的有資格者」が行ってください。欠陥があると、漏電やガス漏れ、水漏れの恐れがあります。 **電気工事** **管工事**



●開梱時、商品を仮置きする場合は、床や商品に傷をつけないように養生してください。

●建築壁の表面を平らにしてください。壁面に凸凹があると扉が段違いになり、仕上げに支障が生じます。凸凹がある場合は、建築壁をたいらに手直りするか、ウォールキャビネットと壁の間にスペーサーを入れてキャビネットの水平・垂直が出るように固定してください。 **大工工事**



② 扉・棚板などの取り外し

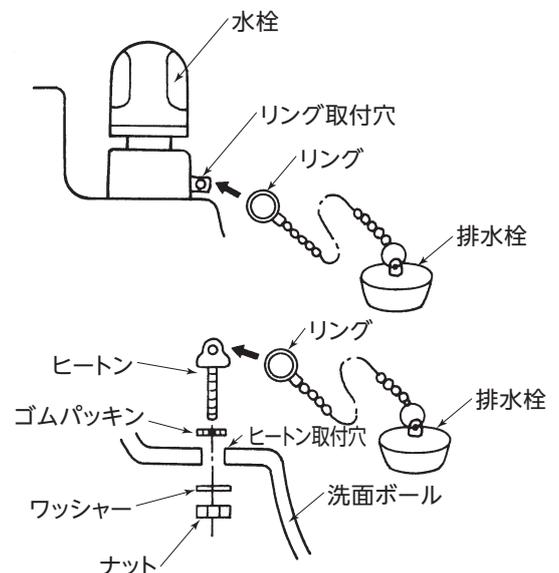
●P.16～P.17を参照して、キャビネットから扉や棚板、引出しなどを取り外してください。取り外した扉や棚板などは、発泡シートなどを使って、傷などがつかないように保護し、安全なところへ保管してください。

③ 水栓の取り付け

●水栓に同梱される専用の説明書を参照してください。

④ 排水栓の取り付け

●右図のように排水栓のリングを水栓のリング取付穴、またはヒートンに取り付けてください。ヒートンは、洗面ボールのヒートン取付穴にセットしてください。



取付・設置

⑤ 洗面化粧台の設置

●ダンボールや厚手の毛布で洗面化粧台やカウンターの上を十分に保護してから作業を開始してください。

(1)給水・給湯用の穴を開けてください。

〈BTS の場合〉

給水・給湯位置に合わせて、キャビネットの内側から底面に穴を開けてください（参考穴：φ 25）。

〈BGA の場合〉

①現場の排水管位置と給水・給湯位置に合わせて、点検口フタに穴を開けてください（参考穴：給水・給湯配管φ 25 mm、排水管φ 40 mm）。

②点検口フタをキャビネットの開口に合わせてねじで取り付けてください。

③パッキンを点検口フタの間口方向の長さに合わせて切り、両面テープの紙をはがして点検口フタの木口前面に合わせて、底面に貼り付けます。

(2)付属の給水・給湯キャップの裏面に両面テープを貼り付けてありますので、キャビネットの内側から給水・給湯キャップを貼り付けてください（配管後でも給水・給湯キャップの取り付けはできます）。

※給水・給湯配管が壁出しの場合…背板に貼る。

※給水・給湯配管が床立ち上げの場合…

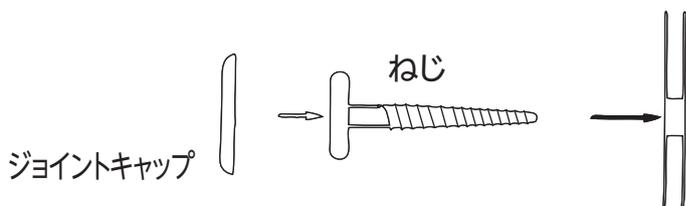
〈BTS の場合〉底板に貼る。

〈BGA の場合〉点検口フタに貼る。

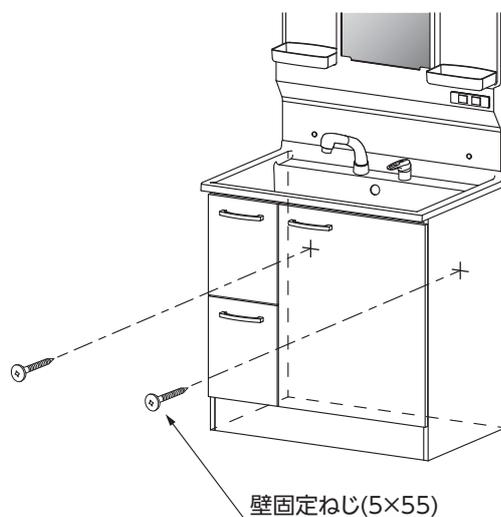
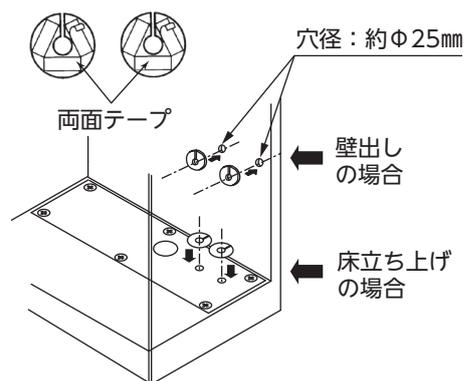
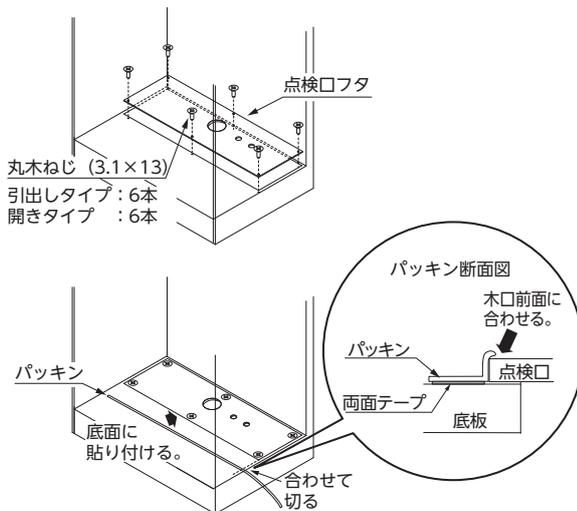
(3)付属の壁固定ねじ（5 × 55）で、キャビネットの背板から壁面の下地材に 2 カ所固定してください。

※〈BTS の場合〉

ねじには、下図のようにジョイントキャップをしてください（以後の壁固定ねじについても、全て同様です）。



〈BGA の場合〉



取付・設置

6 水栓の接続・配管

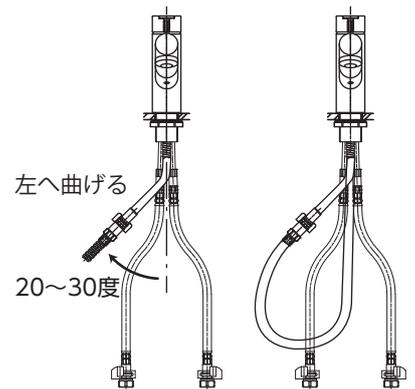
◎給水・給湯配管工事は、法的資格を有する者が行う工事範囲です。法令・規定に従って、「法的有資格者」が行ってください。接続や固定が不完全な場合、水漏れの恐れがあります。 **管工事**

●水栓に同梱される専用の説明書を参照して、給水・給湯配管と接続してください。 **管工事**

〈BTS の場合〉

●シャワーホースにつなぐ銅管を、給水・給湯配管の止水栓とシャワーホースが干渉しないように、左へ目安20～30度程度、後ろへ目安5～10度程度曲げてください。

◎銅管は注意して、静かに曲げてください。勢いよく曲げたり40度以上に曲げすぎると詰まりや破損の原因になる恐れがあります。

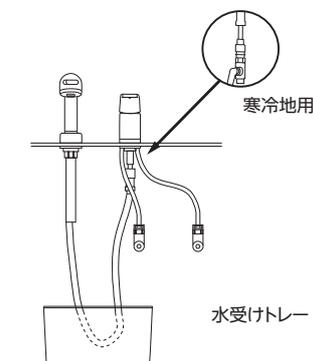


7 水受けトレイの取り付け

●水受けトレイをキャビネット内の右図に示す位置に設置してください。

(1)シャワーホースを水受けトレイ内に下図のように納めてください。

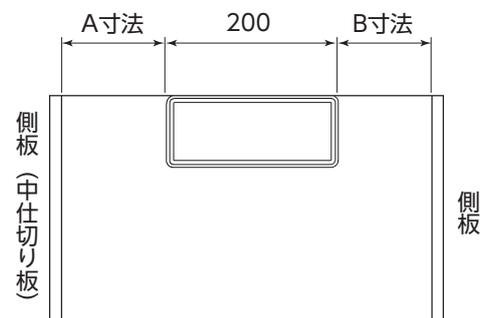
(2)取り付け後、シャワーホースがスムーズに出し入れできるか、確認してください。



〈水受けトレイの推奨設置位置〉

	A寸法	B寸法
BTS75	220	260
BTS752	0	242
BTS60	130	200
BGAL75	263	246
BGAL752	25	
BGAL60	180 [255]	179 [104]

※ [] 寸法は、電気温水器を設定する場合。



※シャワーホースの出し入れがスムーズにできるよう、接続銅管の曲げ具合を調整してください。

※接続銅管の曲げすぎは銅管を損傷しやすく、水漏れを引き起こす可能性がありますので気をつけてください。

取付・設置

⑧ 排水器具の接続

●洗面化粧台の排水ホースを右図の要領で、配管してある排水管に接続してください。 **管工事**

◎排水管の接続は、必ず防臭キャップを確実に取り付けてください。
水漏れにより、家財を汚したり、腐らせる恐れがあります。 **管工事**

※このとき、排水管に差し込まれる部分は、100 mm程度に調整してください。また、排水管の底に排水ホースが突き当たる場合は、配水管に沿って排水ホースを曲げてください。

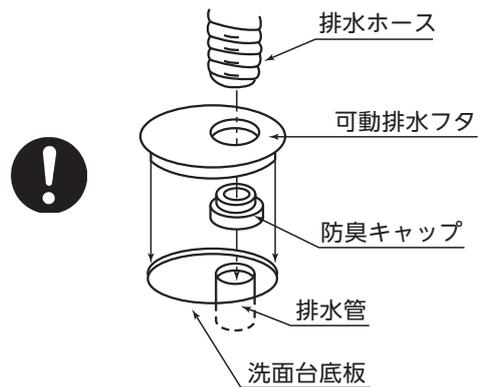
〈BGA の場合〉

排水管の接続後、点検口フタを丸木ねじ（3.1×13）で固定してください。

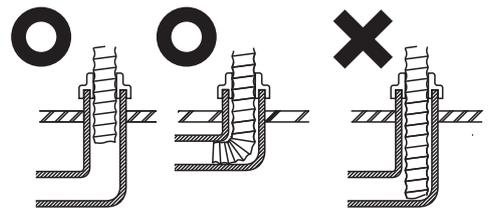
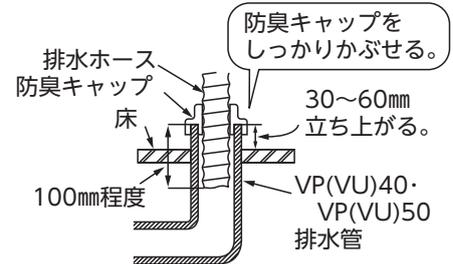
⑨ ミラーキャビネットの設置

●ミラーキャビネットに同梱される専用の取付・設置説明書を参照してください。

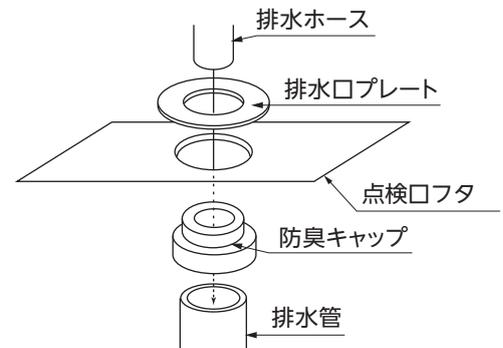
〈BTSの場合〉



〈建築側排水管との接続〉



〈BGA の場合〉



取付・設置

10 ウォールキャビネットの設置

◎複数の下穴を全てねじで埋めるよう、ねじを残らず使用してください。

ねじの使用数が少ないと、長期の間にはキャビネットの落下をまねく恐れがあります。

●キャビネットの背板の上下にある下穴から付属の壁固定ねじ (5×55) を使い、壁面の下地材に固定してください。次に、ねじの頭に、ジョイントキャップを取り付けてください。

●取り付けるウォールキャビネットが複数ある場合ウォールキャビネットどうしを連結してください。

(1) 下穴加工

連結する一方のウォールキャビネットの側板に、右図の〈ねじ固定参考位置〉からドリルでφ3mmの下穴を開けてください。

(2) ウォールキャビネットどうしの連結

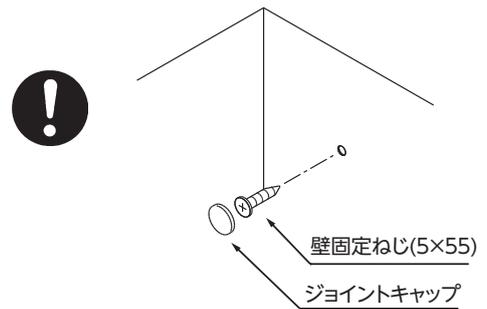
床の上で連結するウォールキャビネットどうしを面合わせして、(1)で開けた穴から付属のジョイントねじ (4×28) でウォールキャビネット間にすき間がないように連結してください。

ねじの頭に、ジョイントキャップを取り付けてください。

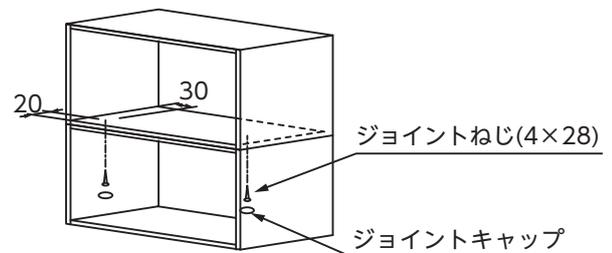
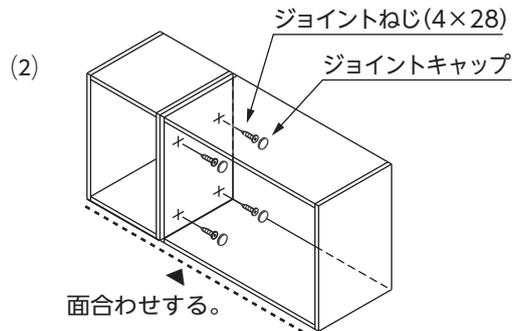
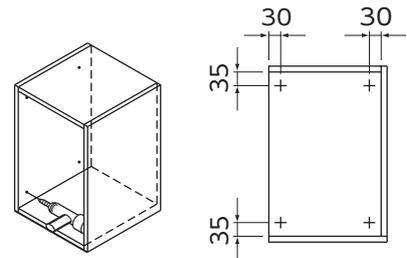
〈洗濯機用ミドルキャビネットを取り付ける場合〉

●ウォールキャビネットと洗濯機用ミドルキャビネットを上下連結する場合は、右図のようにジョイントねじ (4×28) で連結してください。

ねじの頭に、ジョイントキャップを取り付けてください。



(1) 〈ねじ固定参考位置〉



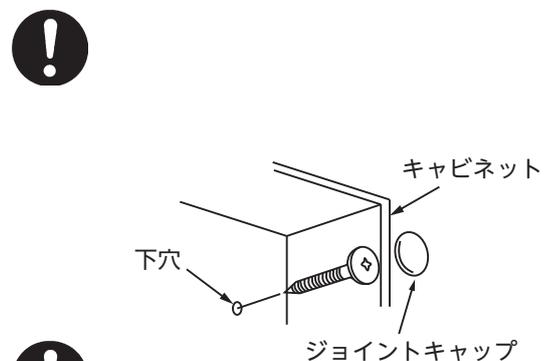
11 サイドキャビネット(下台 / 上台 / ウォール)の設置

◎複数の下穴を全てねじで埋めるよう、ねじを残らず使用してください。

ねじの使用数が少ないと、長期の間にはキャビネットの落下をまねく恐れがあります。

●キャビネット内側の背板の複数の下穴から付属の壁固定ねじ (5×55) を使い壁面の下地材に固定してください。ねじの頭に、ジョイントキャップを取り付けてください。

◎サイドキャビネット上台の取り付けは、サイドキャビネット用ウォールキャビネットを取り付けた後に行ってください。



取付・設置

〈BGAの場合〉

●GASC15LKN、GASC25LBH、GASC30LBH、GASC45LBHの場合は、同梱されているパッキンを以下の手順で取り付けてください。

- ①パッキンを洗面化粧台の高さに合わせて切断し、両面テープをはがし、右図のように貼り付けてください。
- ②フィラーを右図の位置に合わせ、マスキングテープなどで仮止めします。

〈BGA、BTSの場合〉

- (1)壁固定ねじ (5 × 55) で、壁面の下地材に固定し、ねじの頭にジョイントキャップを取り付けてください。

※ TSSC15KN の場合は壁固定は、行いません。

- (2)洗面化粧台下台の内側から、ジョイントねじ (4 × 28) で、丁番下方、または引出しレール下方の上下2カ所で固定します。

※ TSSC25BH の場合は、連結は行いません。

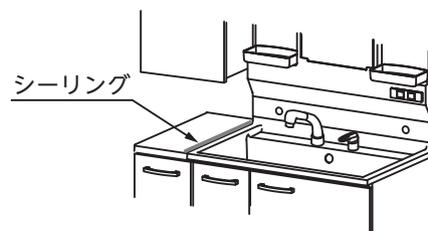
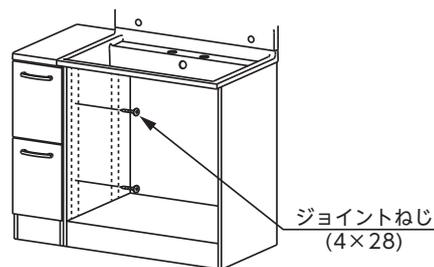
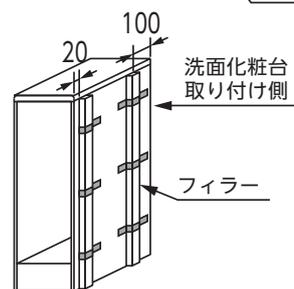
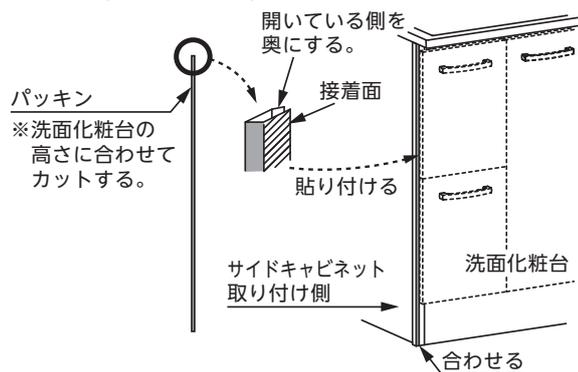
※ねじで固定する際は、表示シールやアフターメンテナンス案内シールにねじが当たらないようにしてください。

※ねじで固定する際は、フィラーを貫通させるようにしてください。

●シーリング処理について

洗面化粧台と収納キャビネットのすき間は、マスキングテープで周囲を保護しシーリング材で処理してください。キャビネットとシーリング材は密着性が低いので、平らに仕上げてください。

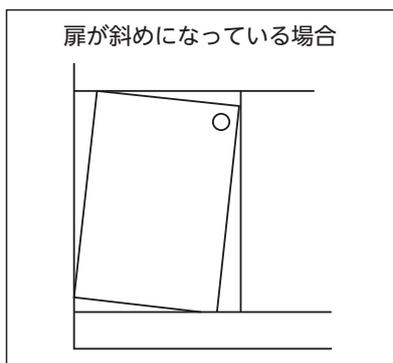
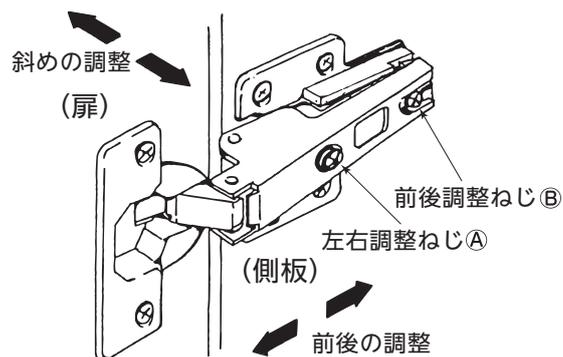
〈BGAの場合〉



取付・設置

12 扉の調整のしかた

- 扉がガタついたときは、⊕ドライバーで前後調整ねじ③を締めます。



- (1)前後調整ねじ③を締めたまま調整してください。

- (2)左右調整ねじ②を反時計回りに回すと、側板と扉の間隔は狭くなり、左右調整ねじ②を時計回りに回すと、側板と扉の間隔は広くなります。

- (3)左右調整ねじ②で調整終了後、必ず前後調整ねじ③を時計回りにしっかり締め直してください。



- 前後調整ねじ③をゆるめ、扉の前後を合わせた後、再び前後調整ねじ③をしっかり締め付けます。
(扉が前後に動かないときは、左右調整ねじ②を少しゆるめてください)

13 引出しの脱着・引出し前板の調整のしかた

〈樹脂製引出しの場合〉

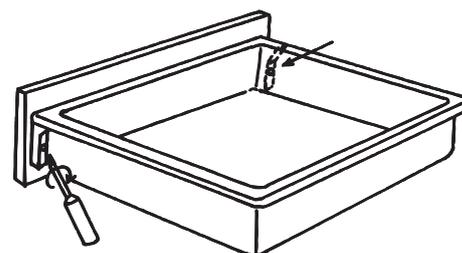
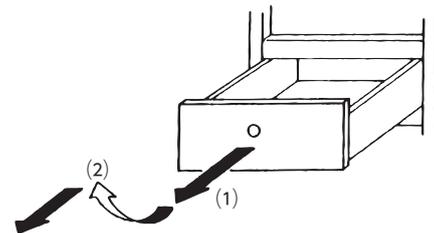
●引出しの脱着のしかた

- (1)引出しをストップするところまで引き出し、持ち上げながら引くと外れます。
- (2)引出しを取り付けるときは、(1)と逆の手順で取り付けてください。

○引出しを外すときは、収納物を出してから外してください。収納物が多い場合、重さで引出しに変形する恐れがあります。

●引出し前板の調整のしかた

引出しの外側の引出し前板を固定している3本あるねじの中央のねじを⊕ドライバーでゆるめてください。次に、引出し前板の位置を調整し、ねじを締め直してください。ねじのゆるめすぎには気をつけてください。引出し前板が落下して、ケガをする恐れがあります。



取付・設置

14 棚板の取り外しと取り付けのしかた

◎棚受けダボは、棚板の厚さ 15 mm 用です。
取り外し、取り付けをする際は、必ず外した棚板と組み合わせて使用、保管してください。

※棚受けダボのサイズは、ダボ横に刻印されています。

●棚板の取り外し方

- (1)前側の左右の棚受けダボのつめ部分を、棚板を押さえながら、“パチン”という音がして外れるまで手前へ強く引いてください。
- (2)棚板を前へ引いて取り外してください。

●棚板の取り付け方

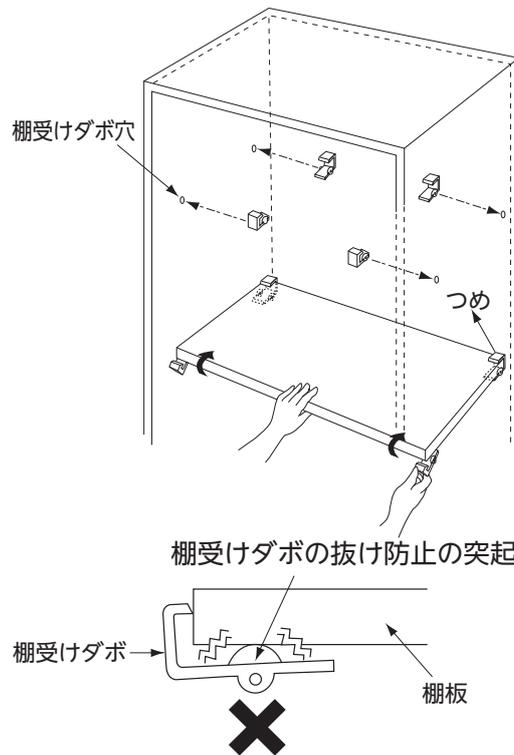
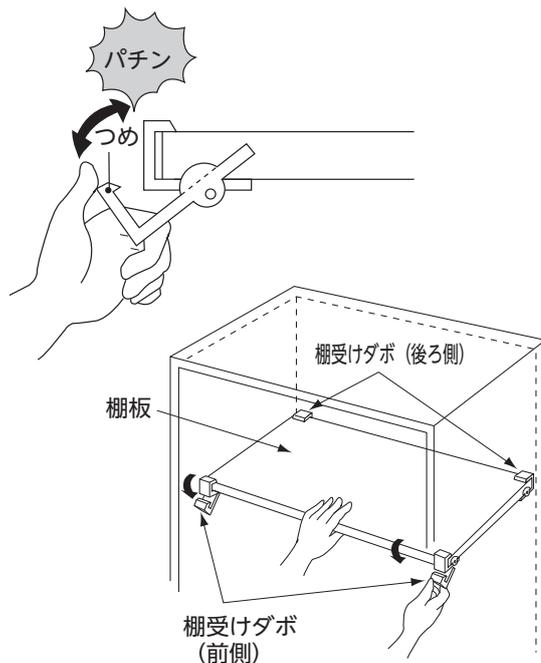
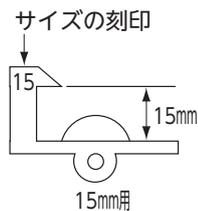
- (1)右図のように、棚受けダボを棚受けダボ穴に根元まで差し込んでください。

※差し込みが浅いと、棚板が棚受けダボの抜け防止の突起部分に当たり、棚受けダボが破損する恐れがあります。

※棚板をセットするときは、棚受けダボにある「抜け防止の突起」を変形させないでください。
棚板のガタつきの原因になります。

- (2)まず、後ろ側の棚受けダボのつめに棚板をしっかりとめ込んでください。
- (3)棚板を押さえながら、前側の棚受けダボを下から強く押し上げてください。
つめが棚板にはめ込まれ、“パチン”という音がするまで押し上げてください。
- (4)棚板にガタつきがないか、確認してください。

※ガタつきがある場合は、再度取り付け直してください。



取付・設置

⑮取付・設置後の確認・点検

- 次の事項を確認してください。なお、大工工事、電気工事、給排水工事、建具工事にかかわる確認は、法的有資格者に依頼してください。 **大工工事** **電気工事** **管工事**

(1)水栓の通水点検

- 水栓を全開にして、配管内のゴミを洗い流してください。
- 水栓から湯と水が出るか、水栓が正常に作動するか、確認してください。 **管工事**
- 水の勢いが強く水はねが多い場合は、止水栓（現地調達）で、調整してください。 **管工事**

(2)水漏れ点検

- 水栓・排水器具から水漏れがないか、確認してください。 **管工事**

(3)キャビネットの点検

- 背板の下穴がすべて壁固定ねじ（P.7 参照）によって固定されているか、確認してください。
- キャビネットにガタつきがないか、確認してください。
- 繰り返し扉を開閉して、確実に丁番^{ちょうばん}で固定されているか、確認してください。
- 丁番で扉の段違いを調整してください。

（調整方法は、「⑫扉の調整のしかた」P.16 を参照してください）

(4)ミラーキャビネットの点検

- スイッチを入れ、照明、くもり止めヒーターが作動するか、確認してください。

(5)清掃

- 各部の点検終了後、清掃を行ってください。

(6)その他の確認事項（必ず行ってください）

- 引き渡しの際は、取扱説明書・保証書を渡すとともに、ご使用上の注意・お手入れ方法などについて説明を行ってください。

取付・設置後の整理など

- 取付・設置終了後も、商品にはカバーをするなどして保護してください。
- 不要なダンボールや廃材は、排出事業主（元請け）の指示に従い適切に処理願います。
- 火気や薬品類の始末には、特に気をつけてください。
- 水栓が閉まっていることを確認してください。

廃棄処分について

- 不要部材を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

寸法図

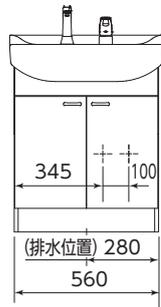
※商品(寸法図)の単位はmmです。

(洗髪タイプ)

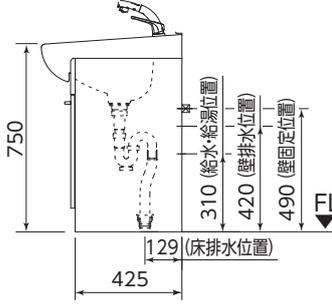
■間口750mm



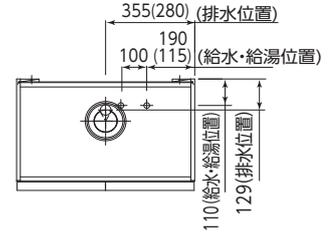
■間口600mm



■間口750mm、600mm共通断面図



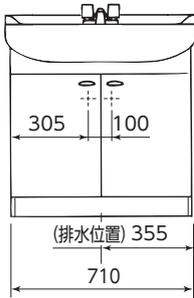
【間口750(600)mm開きタイプ
/750mm引出しタイプ】



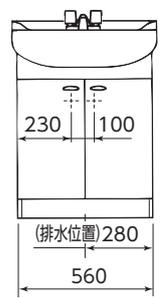
※ () 寸法は、間口600mmの場合。

(洗面タイプ)

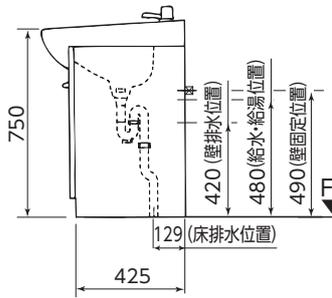
■間口750mm



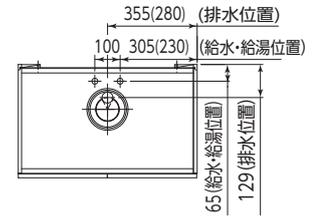
■間口600mm



■間口750mm、600mm共通断面図

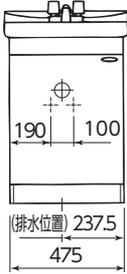


【間口750(600)mm開きタイプ】

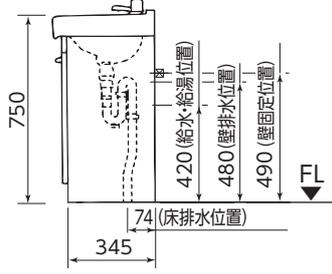


※ () 寸法は、間口600mmの場合。

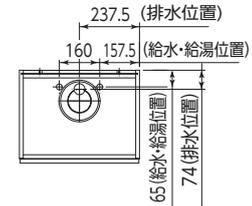
■間口500mm



■間口500mm断面図



【間口500mm開きタイプ】



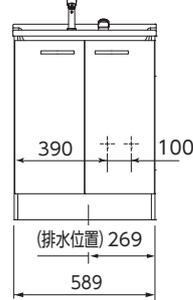
B
T
S

B
G
A

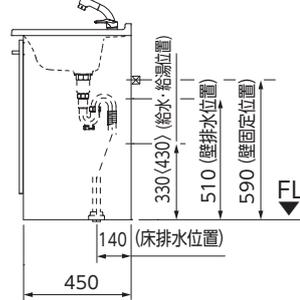
■間口750mm



■間口600mm

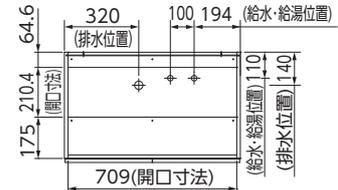


■間口750mm、600mm共通断面図

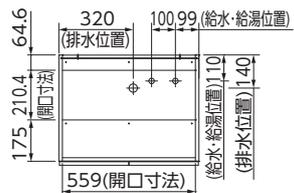


※ () 寸法は、シングルレバー水栓、
ツインハンドル水栓、単水栓の場合。

【間口750mm】



【間口600mm】



取付・設置にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店
または当社支店・営業所までご連絡ください。

クリナップ株式会社
〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22